

## 第46回全国中学生テニス選手権大会で包装餅をPR

### テニス界にも”元気の源”おもちパワー”

全国餅工業協同組合は、2019年(令和元年)8月18日(土)~24日(土)にマリンテニスパーク・北村(大阪市大正区)で行われた第46回全国中学生テニス選手権大会にブース出展。選手や大会関係者へむけて「スポーツ×おもち」の概念を伝えながら包装餅のプロモーション活動を行いました。



### 大阪で初開催となった全国中学生テニス選手権大会

今年6月に大阪で開かれたG20、そして2025年の大阪万博控え、益々賑わいを増す大阪の地では全国中学生テニス選手権大会は初の開催。西日本には大会直前に大型台風10号が通過しましたが、大きな被害もなく無事に当日を迎える事ができました。

猛暑の影響が懸念される中、選手たちの健康管理を最優先に考えた大会運営が行われていました。私たち全餅工もその一助となるべく、スポーツの栄養補給源として適したお餅の現物を携えて現地入りしました。

開会式当日、会場正面入口には様々な企業ブースが連なるエリアができました。この人通りの多いエリアで全餅工も”おもちとスポーツの相性の良さ”そしてお餅の魅力について訴求できるパネルを展示したブースを設置しました。

さらに「10月10日はおもちの日」とアピールしたTシャツを着用したスタッフが切り餅や餅カーボローディングを訴求する漫画チラシを配布しました。



大会には全国から男女計64チーム、700名以上もの選手が参加していたため、大いに会場も盛り上がりました。

大会に先立ち、センターコートで行われた開会式では、メインスタンドから大勢のご家族や関係者が見守る中、男女それぞれの代表選手が清々しい選手宣誓を行いました。ここから団体戦(8/19-20)と個人戦(8/21-24)の1週間の熱闘の火蓋が切られました。

開会式終了後には全餅工から全チームの選手たちに向けて、およそ1100セットの切り餅セット(切り餅パック・リーフレット・漫画チラシ・ティッシュ・手提げ袋)をそれぞれ配布させて頂きました。

また同日には引率教諭連絡会議が開かれ、天候が荒れそうな今大会の運営マニュアルについての周知と、熱中症などの安全面について再度関係者へ知識を深めるよう言及されていました。しっかりと栄養補給する為に、おもちが便利であることが実感されました。



## 大会を終えて

ラグビーワールドカップの開催と2020年のオリンピックを控え、さらに注目が集まり各団体の活動が盛んになるであろう日本のアマチュアスポーツ。

この機会に、選手たちにとっておもちによるカーボローディングは効率的な栄養補給方法であること、尚且つおもちは安心安全な自然食品であることの認知度を上げていきます。そして、さまざまなスポーツの分野でおもちが求められる存在になるよう、全餅工は引き続きスポーツ協賛活動を通し積極的に日本の若者の未来を全力で応援していきます。

